

2市（善通寺・丸亀）1町（多度津）を經由して坂出市に到着

丸亀市の出発集会 46名 宇多津町長が始めてペナント！カパ：7,087円

善通寺市ではあいにく公務のために、二宮秘書課長が平岡市長のメッセージを代読。その中で被爆74年、戦後平和を享受する我々が積極的に平和に努めていきたいが、その一翼を担う平和行進の活動がある。暑い中だが体調管理を気遣い挨拶としました。

多度津町では、例年の「スイカ&ミニトマト」のお接待を受けました。特にスイカは雨が少ないせいか「甘さ」が格別でした。内田信吾善通寺市議は、雨不足でトウモロコシを播いたが芽がマダラと心配していると、雨不足を心配していました。

多度津町の出発では、秋山俊次副町長が平和行進での平和への献身に敬意を表し、唯一の被爆国日本の実相を後世に伝える大切さと現状が厳しいだけに（平和を）広げることが強調して挨拶としました。また被爆者の高谷修三さんが「国民平和大行進にパワーと元気をもらっている。今『核なき世界』に大きく前進しているが、日本政府の態度を厳しく批判。人々の願いの実現今こそ期待している」と力強い挨拶をいただきました。

丸亀市役所前には行進団の到着を市役所関係者はじめ多くの方々が温かく拍手で出迎えてくれました。出発式では平和行進実行委員会の松永始香川県原水協筆頭代表が、今核兵器禁止条約が発効を目前にして、核保有国の逆流を止める世界の運動の第一弾がこの平和行進であると指摘し暑い中での行進だががんばろうと呼びかけました。梶市長のメッセージ（代読横田室長）は20世紀の2つの大戦は悲劇以外の何ものでもなく、その被害が脅威の大きさを表していると指摘し、平和を守るために粘り強く活動すること、丸亀市としても昭和59年に平和都市宣言したが、これからも平和な町作りに精進したいと決意表明。被爆者の高谷修三さんの発言や教育委員会の川田部長の紹介、さらにコープ歯科砂田所長のメッセージ、中谷まゆみ丸亀市議の紹介などがありました。

宇多津町では初めて谷川俊博町長からペナントをいただき、町長不在のため和田省三会計管理者の激励（他8名の職員）がありました。神出よしひろ町会議員も挨拶のあと、坂出市まで元気に行進しました。



多度津副町長と出発式



丸亀市での出発式